

弘教寺



第56号

発行所

〒370-0131
伊勢崎市境米岡二七九-二
浄土真宗本願寺派弘教寺
寺報編集部
電話 0270(七四)0573



寺のQR

前任職・前坊守を偲んで

弘教寺住職 中山英昭

十月一日(日) 前任職四十三回忌、前坊守十七回忌を勤めました。

私の両親ですので、故人を偲び見聞きしていることを今回は書いてみたいと思います。

前任職中山莞爾は大正九年春に前橋市清光寺様のご紹介により、弘教寺第三世中山啄雄、坊守吉田まんの養子となります。まんさんは第二世の吉田轉海師の養女となったことで、吉田の姓をかたくなに守り夫婦別姓を生涯通しました。前坊守の話では山口県(現萩市)から来た年の秋に住職が五十代で往生してしまつたようです。小さな寺、そして住職無き中で大変な幼青年期を過ごしました。

それを力強く支えたのが義母まんさんです。寺の法務、生活の足しにと人にお灸をすえたり、若い娘さんに和裁を教えたり、境内にはお茶の木を植えてお茶を作り、梅の木を植えて梅干し作りをして自給自足を徹底して、先代住職を門信徒の皆様にご負担をかけずに大学まで出すというスーパーおばあちゃん、明治の女性でした。

前任職がよく言っておりましたが、当時大学に浪人すると、直ぐに軍隊からお呼びがか

かつたそうです。東大受験に失敗した父は、やむなく日本大学社会学部に進み、社会学を学びました。

大学卒業後は寺に戻らず帝国劇場の会計部で働いていました。何年務めたか分かりませんが、その後宇都宮の陸軍に応召し、部隊は中国の安陽の方面に派遣されたようです。隊長の名をとり「瀬古部隊」後に「大川部隊」と呼ばれ、主に物資の輸送が任務でした。戦後の戦友会でお聞きしましたが、部隊に何人も僧侶がいたようですが、戦死した戦友が出ると、前任職である父が葬儀を勤めたそうです。戦地に慰問団がやって来た時、その中にいた女優の水江瀧子さんが「莞(かん)ちゃん」と声をかけてくれたそうです。また、昭和五十年代に2階の奥の部屋を改装するとき片付けをしていましたら、漫才師の横山エンタツさんと花菱アチャコさんと一緒に肩を組み撮った写真が出てきました。真面目一途の父の意外な面を知って驚きました。

ニューギニアで終戦を迎え、九死に一生を得て帰郷し、以後は住職の務めと地方公務員(主に福祉畑を中心に)の二足の草鞋を履く人生でした。退職後は福祉大学校、育英短大、大泉保育専門学校の講師を務めて、昭和五十

七年七月、七十二歳で往生致しました。

次に前坊守中山基子についてですが、意外と知られていないのが、吉田まんさんとの関係です。前坊守はまんさんの妹の子で、叔母、姪(めい)の関係です。まんさんが、戦時中前任職のお嫁さんにと故郷の山口県防府市から呼び寄せたようです。でも親族関係の親子でうまくいくかと思えば、さにあらず、お互いに我が強かつたので、口論が多く、そんな時父はどっちつかずの微妙な立場だったようです。

前坊守は幼いころからお料理が得意で、戦後お友達を集め、当時としては珍しいケーキやシュークリーム作りをしたりと熱心でした。婦人会例会では毎月料理教室を開催し、会員の皆さんにレシピを配り指導をして喜ばれました。会員の中には分厚いレシピを綴じて持っている方もおりました。お客様が沢山来られるときには、三、四十人位は一人で料理を作っておりまして。私個人は「酢豚」が好きで、

絶品の美味しさでした。境内地に自生するタケノコを入れるとさらに美味しい酢豚になりました。

戦前、戦中、戦後の大変な時代に弘教寺を守り、教化活動に専念した前任職、前坊守を偲ぶとともにその功績に感謝致します。

南無阿弥陀仏



さまざまなお勤講

今年も十二月三日、弘教寺の報恩講法要がお勤まりになります。コロナによって規模を縮小している自坊の報恩講ですが、今年も縮小のままで来年から通常の規模に戻していく予定です。

さて、報恩講法要というのは親鸞聖人の恩徳に報謝する浄土真宗において最も大切な法要で、本願寺では毎年一月九日から祥月命日の一月十六日までの七昼夜にわたって御正忌報恩講が勤修されます。

この報恩講法要は、築地本願寺や別院、一般寺院でもお勤まりになります。では、どのように報恩講法要がお勤まりになるのでしょうか。築地本願寺と大阪府の津村別院では十一月十一日から六日間、和歌山県の鷺森別院では十一月二十四日から五日間、鹿児島県の鹿児島別院では十二月十二日から五日間お勤まりになります。日程にばらつきはあるものの、築地本願寺や別院の報恩講は、十一月から十二月の間で約五日間おこなわれています。この報恩講の期間は、工夫を凝らしたイベントや、境内出店があったりと、さまざまなことが行われます。

築地本願寺では、パイプオルガンの演奏や楽友会のコーラス、被災地支援物産展が行われます。津村別院では、フリーマーケットや「雅楽」と「西洋楽器」「コーラス」がコラボするコンサート「灯びのつどい」が行われ

参拝者を楽しませます。鹿児島別院では、バザーや普段近づけない本堂の内陣を近くから見る事ができる内陣見学があったり、法語入り参拝証がもらえます。このように、お勤めとお勤めの間の時間や終わった後も楽しめるようにと、各別院がさまざまな企画をして報恩講を盛り上げています。

では、一般寺院の報恩講法要はどうでしょうか。例えば、自坊のコロナ前の報恩講は十二月初めの土曜日と日曜日の二日間でした。お斎の接待やバザーが行われ、特にバザーは多くの方が来て大変にぎわっていました。一日目にバザーとコンサートなど、二日目に法要というかたちでお勤まりになりました。他の群馬のお寺も一日と二日間の日程で十月末から十二月初めまでの間で順番に報恩講法要をお勤めします。群馬は寺院数が少ないため、十ヶ寺が相互で勤め合い、それぞれの報恩講法要をお手伝いする習慣となっています。近年はコロナのためにそうしたことがなくなっていました。今年も半数近い寺で従来のかたちでお手伝いする法要になつてきました。



弘教寺では地域でインフルエンザの感染拡大がみられることから、今年の様子を見て、来年を目途に従来の法要に戻す予定です。さて、なぜ十月末から十二月初めという期間に報恩

講をするかという、御正忌報恩講の時期を避けてお勤めすること、一月に本山に参拝できるようにするためです。本願寺派では親鸞聖人の御命日を新暦の一月十六日であるとしていきます。この日を避け

命日のお勤めをするために、旧暦の御命日である十一月二十八日に近い日程で法要がお勤まりになるので、十月末から十二月初めに別院や一般寺院の報恩講が集中するのです。なお、関東のほとんどの寺院が十一月前後にお勤めをするのに対し、関西方面では一月の御正忌付近の日程で報恩講をするお寺が結構多いようです。

浄土真宗の他派では、高田派以外のすべての派が旧暦の十一月二十八日を御命日として、御正忌報恩講をお勤めしています。一般寺院の報恩講は新暦の一月にお勤めするお寺もあるようですが、ほとんどが御正忌報恩講の前の十一月の前半にお勤めするようです。

今年の弘教寺の報恩講法要は残念ながら、手勤めでバザーもない小規模なお勤めです。それでも、来年には再びコロナ前のにぎやかな報恩講法要に戻せるように、少しずつ通常のかたちに戻していく予定です。どうか、一人でも多くの方に報恩講法要に参拝していただければ幸いです。



衆徒 中山大悟 合掌

しんらんしょうにんごたんじょう
親鸞聖人御誕生八百五十年
りつきょうかいしゅう
立教開宗八百年

築地本願寺 慶讃法要

本山(西本願寺)直轄寺院の築地本願寺では、2022(令和4)年4月1日から2027(令和9)年3月31日までを築地本願寺親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要推進計画期間と定めています。この期間中は慶讃法要の修行の他に、教化伝道活動と、本堂・境内建物などの護持・補強工事が実施されます。

この度の慶讃法要は、親鸞聖人の「他力念仏のみ教え」に出遇えた慶びを、感謝する良きご縁であると私は思います。

昨年の本山での慶讃法要参拝に続きますが、築地は近くになります。皆様におかれましてもお身体とご相談されて参拝を考えていただければありがたいです。

後日にお寺より慶讃法要参拝のご案内がありますので、よろしく願います。

合掌
橋本 勝

日程・スケジュール

1日目	4月26日(金)	速夜法要
2日目	4月27日(土)	日中法要 速夜法要
3日目	4月28日(日)	日中法要 速夜法要
4日目	4月29日(月・祝)	日中法要 ご満座

親鸞聖人ご事績研修会

親鸞聖人御誕生八百五十年、立教開宗八百年の記念行事として、親鸞聖人研究の第一人者である今井雅晴先生を講師に、親鸞聖人の関東のご事績を巡る研修会が催されました。私が今回参加したのは神奈川県のご事績をめぐるプランで、永勝寺、善福寺、真楽寺、箱根神社と、解説を聞きつづめました。

永勝寺は、親鸞聖人が実際に掘ったといわれる井戸と、あまり見ることのできない、面を掛けた「面掛け阿弥陀如来像」があるお寺です。親鸞聖人が数日間滞在されたといわれています。善福寺は、鎌倉武士だった源上人が、親鸞聖人の教えによって門弟となり開いたお寺です。木造の親鸞聖人像と伝わる像がありますが、国の重要文化財に指定される際に、了源像と登録されてしまったそうです。真楽寺は、親鸞聖人が神奈川での布教道場の一つとして使用したお寺で、天台宗から改宗したお寺です。伝承ではなく、親鸞聖人と蓮如上人が訪れたことが確かなお寺です。箱根神社には、平和を願って慈悲の像と名づけられた親鸞聖人像があります。



神奈川での親鸞聖人のお姿を感じることができ、とても良い時間を過ごすことができました。より親鸞聖人について研究を進めていきたいと思っています。

衆徒 中山真悟
合掌

教区北ブロック寺族女性一日研修会

9月29日(金)、「東京教区寺族女性連盟第28回北ブロック寺族女性一日研修会が、千葉県銚子市犬吠埼ホテルで開催されました。北ブロック(千葉、茨城、埼玉、群馬、栃木)

の真宗寺院の坊守様方を中心に46名が集い、ご講師に南荘宏先生(静岡市教覚寺前住職)をお迎えして、講題「新しい仏教讃歌『ねがいの歌』と『仏のみ名を聞きひらき』を歌いましょう」のもと、『東京教区仏教音楽クラブワークショップ』が実施されました。



これは、来年4月末の築地本願寺での「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」の記念行事として4月19日に行われる「音御堂スペシャル」築地本願寺に歌われる仏教讃歌の練習会です。「仏のみ名を聞きひらき」は、慶讃法要のために作曲家平田聖子先生に委嘱して親鸞聖人のご和讃に曲をつけ、阿弥陀如来の本願力に遇えた慶びを音楽で表現した新曲です。このご和讃について南荘先生のお話を伺いつつご指導を受けて歌うほどに、表現は豊かになり美しく歌い上げられました。

この曲が各寺で多くの皆さんに覚えていただき、築地本願寺での慶讃法要を盛り上げる一助となるよう願っております。称名 坊守

京都く群馬ぶらり自転車旅(2)



朝七時から本山でお朝事に参加し、旅が始まった。初日は京都西本願寺から愛知県名古屋市まで。京都から名古屋にはちょうど一年前にも行った道のりであった。琵琶湖を左に見ながら滋賀を縦断し、岐阜を通って愛知に入るルートで、様々に変わる景色をゆっくりと楽しみながら走ることができた。しかし、

一年ぶりのこの長距離は、少しなまっただ体には苦しく、京都市中心から山科区、滋賀県へと抜けていく山中ですでにかなりの体力を持っていかれてしまった。滋賀を抜けきるまでは、易しくはあるものの上がり坂が続く、平坦と下り

になる関ヶ原付近にいたころには体力の限界を迎えていた。それでも、一年ぶりに見ると目新しい場所もあり、身体の疲労はたまる一方であったものの、精神的には常に楽しく走ることができた。目的地到着は夕方五時ごろ、総移動時間はおおよそ十時間程度であった。

五十キロを三時間半で行くと考えると約百五十キロを十時間はかなりいいペースで走れたといえるだろう。旅の初日を無事乗り切ったご褒美として、夜はスガキヤのラーメンを食べた。この旅の一番の目的は各地のご当地グルメを食べることにある。大変有意義な初日を過ごすことができたといえるだろう。

中山真悟

弘教寺ゴルフコンペ開催

11月6日玉村ゴルフ場において「弘教寺ゴルフ会」恒例の秋のコンペ第36回が開催されました。心配されていた天候は雨もふらず、暑くもなく寒くもなくゴルフ日和となり、7組26名の参加者が日頃の腕前を競い合うとともに親睦を深めながらプレーを楽しみ、無事最終組が午後2時45分頃ホールアウトです。

今回、ご住職のはからいにより表彰式、パーティが場所を変えて午後6時より「いまふく」さんにてとり行われました。栗原総代長さんの乾杯の音頭に始まり、ビール、銘酒、お料理に舌鼓を打ちながらその日の出来栄えに花を咲かせ、会員相互の親睦も深まりました。

数々の豪華景品を楽しみに成績発表に一喜一憂しながら、最後に栄えある優勝杯を手にしたのは中山大悟さんでした。初優勝おめでとうございます。ますます今後の活躍が期待されます。準優勝には阿部淳さんが2ストローク差で入り、3位には本日のベスグロの橋本豊さんが入りました。

皆さんと元気に仲良く楽しく身体を動かす



ことがでできる「弘教寺ゴルフ会」に是非入会してみませんか。お待ちしております。飯塚治男

後記 編集

「念仏というのは私に現れた仏の行ない」

坂東性純

これは「今月のことば」として「法語カレンダー」に掲載されています。

法語の解説には、「煩惱という自分の殻に閉ざされている私たちを喚び覚まし、さとの世界へと向かわせるはたらきである」と、書かれています。深く味わいたいです。今後は念仏のおいわれを聞き開くため、聴聞に精進してまいりたいと思います。

称名 瀬古規子

◆ 行事予定 ◆ 令和5年12月 ~ 令和6年3月			
月別	弘教寺の行事予定		教区・群馬組の行事予定
12月	3日 (日)	報恩講法要 (一日法要)	
	10日 (日)	壮年会例会 (第5回)	
	16日 (土)	餅つき会	
	18日 (月)	忘年ゴルフコンペ	
	20日 (水)	婦人会例会	
1月	1日 (月)	元旦会	9日 (火) ~
	19日 (金)	婦人会新年会	16日 (火)
	28日 (日)	弘教寺役員新年会	
2月			未定
	18日 (日)	壮年会例会 (第6回)	未定
	20日 (火)	婦人会例会手芸教室	
3月			1日 (金)
	26日 (火)	婦人会例会	17日 (日) ~ 23日 (土)